

## ● LESSON-4 動詞

基礎の英文法でも**最も重要なのは「動詞」の正確な理解**です。

**動詞には「be(ビー)動詞」と「一般動詞」の2種類**あります。

そして、この「**be 動詞**」と「**一般動詞**」は**決して1つの英文の中に一緒に入ることはない**ことを絶対に覚えておいて下さい。

◎ **英文には主語の次に「be 動詞」か「一般動詞」か、どちらか1つだけ必ず入る!**

### ■ be 動詞

#### ① be 動詞の使い分け

be 動詞は現在形が「**is, am, are**」の**3種類**あり、主語によって使い分けますが、日本語の意味（和訳）は全て共通で、「～です」となります。

それ以外にも「～にいます（主語が人、動物）」「～にあります（主語がもの）」という存在を表す意味もあります。

- ◆ I **am** a Japanese. 私は日本人**です**。
- ◆ My mother **is** in the kitchen now. 私の母は今、キッチン**にいます**。
- ◆ Your eraser **is** under the desk. あなたの消しゴムはその机の下**にあります**。

be 動詞の主語による使い分けは、LESSON-2 の「**単数と複数**」、LESSON-3 の「**人称**」によって決まります。表にすると…

人称	単数		複数	
1 人称	I	→ <b>am</b>	we	→ <b>are</b>
2 人称	you	→ <b>are</b>	you	→ <b>are</b>
3 人称	he	→ <b>is</b>	they	→ <b>are</b>
	she	→ <b>is</b>	they	→ <b>are</b>
	it	→ <b>is</b>	they	→ <b>are</b>
	Ken	→ <b>is</b>	Ken and Taro	→ <b>are</b>
	my sister	→ <b>is</b>	my sisters	→ <b>are</b>

この様な決まりがあります。つまり、「am」を使うのは1人称単数の「I」だけ、「is」を使うのは3人称の単数だけ、それ以外の「you」と全ての複数には「are」を使うという決まりです。

ですから、この表通りの主語に be 動詞を使うと…

- ◆ 単数 **I am** a student. (私は生徒です。)
- ◆ 複数 **We are** students. (私たちは生徒です。)
  
- ◆ 単数 **You are** an English teacher. (あなたは英語の先生です。)
- ◆ 複数 **You are** English teachers. (あなたたちは英語の先生です。)
  
- ◆ 単数 **He is** a doctor. (彼は医者です。)
- ◆ 複数 **They are** doctors. (彼らは医者です。)
  
- ◆ 単数 **She is** Mr. Tsuchiya's student. (彼女は土屋先生の生徒です。)
- ◆ 複数 **They are** Mr. Tsuchiya's students. (彼女たちは土屋先生の生徒です。)
  
- ◆ 単数 **It is** on the desk. (それはその机の上にあります。)
- ◆ 複数 **They are** on the desk. (それらはその机の上にあります。)
  
- ◆ 単数 **Ken is** my good friend. (健は私の親友です。)
- ◆ 複数 **Ken and Taro are** my good friends. (健と太郎は私の親友です。)
  
- ◆ 単数 **My sister is** a high school student. (私の姉は高校生です。)
- ◆ 複数 **My sisters are** high school students. (私の姉たちは高校生です。)

このようになります。各単数と複数の組み合わせの違いをよく見て、be 動詞の使い分けを正確に理解して下さい。

## ② be 動詞の文法

この「be 動詞の文法」の説明の前に、「<sup>こうてい</sup>肯定文」、「否定文」、そして「疑問文」の意味を理解して下さい。

- ▼ 肯定文 → 「～です。」「～します。」といった普通の文。
- ▼ 否定文 → 「～ではありません。」「～しません。」と否定する文。
- ▼ 疑問文 → 「～ですか。」「～しますか。」と相手にたずねる（聞く）文。

be 動詞の文法は次の通りになります。これは「is, am, are」全て共通です。

◆肯定文 You **are** my math teacher.

あなたは私の数学の先生です。

◆否定文 You **are not** my math teacher. → be 動詞の直後に「not」を付ける！  
短縮形 **aren't** \* 「You are」の短縮形「You're」の方を使っても OK！

あなたは私の数学の先生ではありません。

◆疑問文 **Are you** my math teacher? → be 動詞を主語の前に出し、  
あなたは私の数学の先生ですか。 クエスチョンマーク(?)を付ける！

◆答え方 Yes, **I** am. / No, **I** am not. → 「あなたは～？」と聞かれたなら、  
No→not を最後に！ 聞かれた方は「私」のことを答える！

はい、そうです。/いいえ、ちがいます。

### ③ be 動詞の過去形

今まで解説してきたように be 動詞の現在形は「is, am, are」の3種類ありましたが、過去形は「was, were」の2種類になります。

使い分けは…

現在形	過去形
is	was
am	
are	were
～です	～でした
～にいます	～にいました
～にあります	～にありました

つまり、今まで現在形で「is と am」を使っていた主語には「was」を、「are」を使っていた主語には「were」を使います。

否定文や疑問文の作り方は現在形と共通ですが、次の通りです。

◆肯定文 You **were** at home yesterday.

あなたは昨日、家にいました。

◆否定文 You **were not** at home yesterday. → be 動詞の直後に「not」！  
短縮形 **weren't**

あなたは昨日、家にいませんでした。

- 主語の前!**
- ◆疑問文 **Were you** at home yesterday? → **be 動詞を主語の前に出し、**  
 あなたは昨日、家にいましたか。 クエスチョンマーク(?)を!
- ◆答え方 Yes, **I was.** / No, **I was not.** → 「あなたは〜?」と聞かれたなら、  
**No→not を最後に!** 聞かれた方は「私」のことを!  
 はい、いました。/ いいえ、いませんでした。

### ◎ポイントの復習

- ① 英文には主語の次に「be 動詞」か「一般動詞」か、どちらか1つだけ必ず入る!
- ② 「be 動詞(is, am, are, was, were)」は主語によって使い分ける
- ③ 1人称単数(I)→am(was) 3人称単数→is(was) 2人称単数(You)と複数全て→are(were)
- ④ be 動詞の否定文は各 be 動詞の直後に「not」を付ける
- ⑤ be 動詞の疑問文は各 be 動詞を主語の前に出し、その答えは be 動詞で答える

### ■一般動詞

#### ①一般動詞とは?

一般動詞は普通の動詞、つまり『**動作を表す語**』です。これは**目に見える動き**「走る = run」、**勉強する = study**、「持っている = have」などだけでなく『**心の動き**』、つまり「好きだ = like」、「感じる = feel」、「楽しむ = enjoy」なども入ります。

be 動詞は「is, am, are」の3種類、過去形を入れても5種類しかありませんでしたが、**一般動詞は無数にあります**。現時点では少なくとも**一般動詞 50 単語**は知っていません。別紙の**プリント(P-01)**を参照し、出来るだけ早く全て確実に覚えて下さい。

#### ②一般動詞の文法

- ◆肯定文 You **study** English every day.  
 あなたは毎日英語を勉強します。
- ◆否定文 You **do not study** English every day. → **一般動詞の直前に「do not**  
 短縮形 **don't** (=don't) 」を入れる!  
 あなたは毎日英語を勉強しません。
- ◆疑問文 **Do you** study English every day? → **主語(この場合は you)の前に**  
 あなたは毎日英語を勉強しますか。 「Do」を入れる!
- ◆答え方 Yes, I **do.** / No, I **do not.** → 「Do〜?」で聞かれたら「do」で答える!  
**No→not を最後に!**  
 はい、します。/ いいえ、しません。

### ③ 3人称単数の一般動詞（3単現）

この「3単現」は初歩の英文法でも一番多くの人がつまずきやすい文法です。

しかし、決して難しいものではありません。

あなたはこのテキストで今までに「主語」「数」、そして「人称」を学び、それらをしっかりと理解出来たはず。これが理解出来ていれば、「3単現」は簡単です！

ようするに『主語が I, We, You 以外(3人称)の1人、1つ(単数)で現在の一般動詞の文には一般動詞に～s (es)を付ける！』と言うだけのことなのです。

主語が…

1. 3人称で
2. 単数の
3. 現在の一般動詞の文

この3つの条件の頭文字を取ったのが「3単現」です。

そして、これらの3つの条件全てがそろっている時だけ一般動詞に～s (es)を付けます。

どれか1つでも当てはまらないのなら、～s(es)を付けてはいけません。

#### ◎動詞の原形

ここで、「動詞の原形」という言葉を覚えて下さい。この「動詞の原形」とは「動詞の元々の形」、つまり「3単現のs」とか、後で説明する「進行形」で使う「～ing」とか、過去形の「～ed」とか余計なものが全く付かない最初の基本の形です。

◆ plays の原型→play playing の原型→play played の原型→play

■ なお、「be 動詞」(is, am, are, was, were) の原型は「be」です。

普通の一般動詞の文と3単現の文の違いが良く分かるよう、対比して説明します。

	普通の一般動詞	3単現の一般動詞
肯定文	<p>主語は3人称だけど単数ではなく複数！</p> <p><b>They</b> play tennis every day.</p> <p>彼らは毎日テニスをします。</p>	<p>主語が3人称単数！</p> <p><b>Mike</b> <del>plays</del> tennis every day.</p> <p>マイクは毎日テニスをします。</p>
否定文	<p><b>They</b> don't play tennis every day.</p> <p>彼らは毎日テニスをしません。</p>	<p>主語が3人称単数の否定文は does not !</p> <p><b>Mike</b> *<del>does not plays</del> tennis every day.</p> <p>does を使ったら動詞は原型！ *does not=doesn't</p> <p>マイクは毎日テニスをしません。</p>
疑問文	<p><b>Do</b> they play tennis every day?</p> <p>彼らは毎日テニスをしますか。</p>	<p>主語が3人称単数の疑問文は Does~?</p> <p><b>Does</b> <del>Mike</del> plays tennis every day?</p> <p>does を使ったら動詞は原型！</p> <p>マイクは毎日テニスをしますか。</p>
答え方	<p>Yes, they <b>do</b>. / No, they <b>don't</b>.</p> <p>はい、します。 / いいえ、しません。</p>	<p>Yes, *<b>he</b> <b>does</b>. / No, *<b>he</b> <b>doesn't</b>.</p> <p>*マイクは男の単数→he (女→she もの・動物→it)</p> <p>はい、します。 / いいえ、しません。</p>